

島根県西ノ島町 地域共創プログラム 2026

仕様書なし・旅費ゼロ・自治体予算化まで視野に入れた「逆プロポーザル型」企業公募。全国から技術・サービス・知見を持つ企業を招き、離島の課題解決と事業機会の創出をともに目指します。

エントリー締切

2026年 8月21日（金）

運営

オルタナティブポート株式会社

ブートキャンプ

2026年10～11月 / 3日間

費用負担

旅費・宿泊費 全額カバー

「逆プロポーザル方式」とは

従来型

行政が仕様書を作成し、企業が入札・提案

行政が課題と要件を定義し、企業は仕様に沿って応募する。行政の想像力が提案の上限になりやすい。



本プログラム

町がリソースを開放——企業が自由に提案

空き家・漁場・農地・データ・実証フィールドを提示。「何ができるか」を企業側が発想。アイデア段階でのエントリー歓迎。

採択企業が得られるもの

BENEFIT 01

旅費・宿泊費ゼロで
離島ブートキャンプ

飛行機・フェリー・現地二次交通・宿泊費はすべて事業予算でカバー。1社2名まで参加可能。

BENEFIT 02

地域キーマンへの
伴走サポート付き紹介

役場・漁協・商工会・観光協会など地域の意思決定者への橋渡しを、運営が直接担当します。

BENEFIT 03

リアルな社会実装と
全国展開前の実証機会

古民家ホテル「OkiBase」・テレワークオフィスで活動環境も整備済み。都市では得られない実証フィールド。



採択企業の提案内容は、翌年度の西ノ島町予算への組み込みを積極的に検討します

実証実験で終わらない——自治体との継続的な協業関係と、本格事業化への道筋を整備します。

スケジュール（2026年）

7月～8月下旬 公募・オンライン説明会

8月21日（金） エントリー締切

9月中旬 一次審査・スクリーニング

10～11月 ブートキャンプ（3日間・来島）

11～12月 プレゼン審査・協業企業決定

2027年4月～ 実証実験スタート

こんな企業を募集します

- 漁業・農業のスマート化に使える技術・サービスを持つ企業
- 観光・地域資源のデジタル活用（インバウンド・体験コンテンツ等）
- 移住・関係人口の創出（テレワーク環境・コミュニティ等）
- 行政・地域インフラのDX推進（手続きデジタル化・データ基盤等）
- その他、地域課題の解決につながる独自技術・知見を持つ企業
- 業種・企業規模は問いません。アイデア段階での応募歓迎。